

サルビア



第18号

平成27年6月1日発行

岐阜市民病院 代表電話 (058) 251-1101
 地域連携部 電話 (058) 253-0890
 FAX (058) 255-0504

renkei@gmhosp.gifu.gifu.jp



ごあいさつ

岐阜市民病院病院長
 富田 栄一

さらなる高齢化により今後の医療・介護需要の増大が予想される中、昨年6月に医療介護総合確保推進法が成立し医療法が改正されました。それに伴い、一般及び療養病床を有するすべての医療機関が自身の担っている病床機能について、都道府県へ報告することが義務化され、同年10月から病床機能報告制度が新たに始まりました。これらの報告データをもとに本年4月から各都道府県において地域医療構想（ビジョン）を策定するための議論が始まっております。策定にあたり各圏域ごとに、医療を受ける立場の代表者、医師会関係者、病院関係者、医療保険者などによる地域における医療・介護などのあり方を議論する会議が設けられますので、諸先生方とともに高度急性期から在宅医療、介護までの目指すべき医療・介護提供体制を考えていきたいと思っております。

一方、医療機関の枠を超えたチーム医療を推進し、在宅医療を支える目的で岐阜県医師会と岐阜県病院協会が共同運営する「ぎふ清流ネット」の運用が始まります。患者さんの病院での診療情報がセキュリティに守られたインターネットを介して閲覧できる仕組みです。事前に一度講習を受けていただくことで閲覧が可能となります。当病院でも6月25日に講習会を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

さて、平成25年12月に改築整備事業が完了し早いもので1年半が過ぎようとしております。さらなる医療環境の充実を図るべく本年度はHCU（ハイケアユニット）を8床整備いたします。従来からあるICU 8床に加えて重症患者用のベッドを16床とし容体が急変した患者さん等の受け入れに対応いたします。また、平成27年には新たに救急専門医と集中

治療専門医の資格をそれぞれ1名ずつが取得しており、ハード・ソフト両面での重症患者診療体制の充実を図っておりますので、是非ともご活用くださいますようお願いいたします。

次に、本年4月には約20名の医師が新たに赴任いたしました。その中から新任部長の紹介をさせていただきます。岐阜大学医学部附属病院より整形外科部長として宮本 敬医師が、また、愛知医科大学より人工関節センター長として大塚博巳医師が着任しました。先生方にはご迷惑をおかけいたしますが、従前と変わらぬご支援をどうぞよろしく願いたします。

診療科・部門のご紹介

整形外科



宮本 敬
 整形外科部長
 脊髄センター副センター長



大塚博巳
 人工関節センター長

ぎふ清流ネット

ぎふ清流ネット運用講習会案内
 日時：平成27年6月25日（木）19:45～20:45
 場所：サルビアホール

もの忘れ外来

もの忘れ外来を始めました。
 担当：里見和夫医師



整形外科部門



後列右から
 青戸寿之
 リハビリテーション科部長
 平成9年卒
 白井之尋
 平成19年卒
 安良 興
 整形外科副部長
 平成8年卒
 佐々木裕介(新任)
 リハビリテーション科医長
 平成15年卒
 中村 寛(新任)
 平成22年卒
 森 敦幸(新任)
 人工関節センター副センター長
 平成9年卒
 熊谷昌紀
 研修医(平成26年卒)

前列左から
 宮本 敬(新任)
 整形外科部長
 脊椎センター副センター長
 平成2年卒
 大塚博巳(新任)
 人工関節センター長
 昭和56年卒
 清水克時
 脊椎センター長
 昭和48年卒
 大野義幸
 形成外科部長
 昭和60年卒

岐阜市民病院整形外科部門は、医師の移動に伴い平成27年4月から新任医師5名が加わり、これまでの基盤をもとに新たな10名の体制でスタートしました。

近年、高齢化社会の到来とともに運動器(脊椎・関節・骨)を扱う整形外科はニーズが増大し、扱う疾患は細分化され、専門医による治療が推進されています。当院でも、平成24年に大野部長による形成外科、平成25年に清水センター長による脊椎センターが開設されました。今回、人工関節センターへ大塚センター長(股関節)と森副センター長(膝関節)、脊椎センターへ宮本、リハビリテーション科へ佐々木医長が参加し、運動器疾患に対し、さらに充実したスタッフにて専門的治療を提供できる体制となりました。

一方、高齢化社会において、大腿骨頸部骨折等、骨粗鬆に起因する骨折は増加傾向にあり、また、当院が岐阜地区の救急災害医療を積極的に担う立場であり、運動器の外傷に対応する機会も増加しています。

これら運動器の疾患・外傷に対して最大限の機能再獲得を目指した急性期医療を提供することが我々の重要な責務です。我々のミッションを以下に掲げます。

- 1 岐阜・東海地区の整形外科疾患・外傷に対する急性期医療の最後の砦(とりで)としての役割を確立する
- 2 患者さんの間で“あそこに行けばなんとかなる”と言われる科を目指す
- 3 医療機関の先生方から“あそこに紹介すればなんとかしてくれる”と言われる科を目指す

- 4 チーム医療体制を重視し、患者さんの安全第一を遵守する
- 5 院内の各診療科との円滑な連携をとる
- 6 回復期リハビリ・在宅復帰後フォローでお世話になる病院・診療所の先生方と密な連携をとる
- 7 整形外科若手医師、研修医を温かく育成する

外来・病棟看護師、リハビリスタッフ、医療クラークとともに、さらに院内他診療科医師とも協同し、これらのミッションの実現に努めたいと考えます。今後とも、ご支援くださいますようお願い申し上げます。(整形外科部長 宮本 敬)

脊椎センター

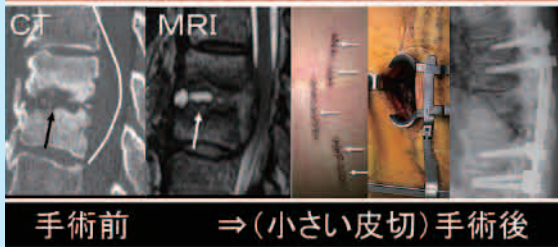
脊椎センターは清水センター長(岐阜大学名誉教授)により立ち上げられ、2年を経て現在当院の基幹的診療分野の一つとなっております。宮本は平成11年より14年の間、岐阜大学において清水教授(当時)のもとで脊椎疾患の手術治療について指導を受け、また本年3月まで、岐阜大学病院にて脊椎グループチーフとして、脊椎側弯症、脊髄腫瘍、靭帯骨化症、脊柱管狭窄、椎間板ヘルニア、頸椎症、脊椎外傷等、様々な病態に対する治療に当たってきました。近年においては、生活に大きな支障となるねこぜ(後彎)に対する矯正手術(図)、低侵襲脊椎手術(図)なども適応を慎重に判断した上で行ってまいります。これら経験をもとに、脊椎センターの層を厚くした治療体制の推進に貢献させていただく所存です。(副センター長 宮本 敬)

宮本 敬

平成2年岐阜大学医学部卒
平成12年マルセイユ大学、ボルドー大学脊椎センター（フランス）
平成15年～平成18年ラッシュ医科大学脊椎組織工学研究所（アメリカ）
平成19年～平成27年岐阜大学整形外科寄付講座准教授
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会手術指導医

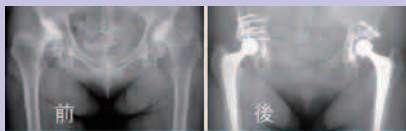


化膿性脊椎炎に対する低侵襲手術

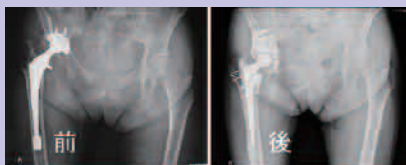


人工関節センター

人工関節センターでは、股関節には人工骨頭置換術はもちろんのこと、特に図のようなセメントを使用する人工股関節置換や再置換術を積極的にいきます。



セメントを使用した人工股関節置換術



人工股関節再置換術



左 人工膝関節全置換術

右 単顆型人工膝関節置換術

また、膝関節には人工膝関節全置換術や、症例に応じてはより低侵襲で早期回復を見込める単顆型人工膝関節置換術などを行っています。術前の計画にはコンピューターを用いた3Dテンプレティングシステムを使用します。人工膝関節全置換術では術中にもコンピ

ューターナビゲーションシステムを使用し、より精密な人工関節設置を実施しています。

(センター長 大塚博巳)

大塚博巳

昭和56年愛知医科大学医学部卒
平成19年～平成27年愛知医科大学整形外科准教授
日本股関節学会評議員
日本人工関節学会評議員
Cemented Hip Education Foundation会長

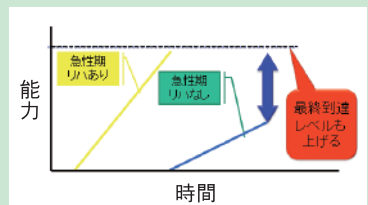
リハビリテーション科

今回、リハビリテーション科専任医として着任いたしました。岐阜で整形外科、回復期リハに従事した後、和歌山県立医科大学リハ医学講座に所属し、急性期リハ、回復期・慢性期リハ、脊髄損傷者の総合的管理、痙縮（神経ブロック、ボツリヌス療法）、高次脳機能障害、嚥下、義肢装具、障害者スポーツなどに従事しました。また、同講座の医局長として地域の病院との連携を担当しました。これら経験をもとに岐阜市民病院においてはリハビリストアップとともに以下を推進したいと考えます。

1. 積極的な急性期リハの導入

ICUをはじめとして、超急性期からの積極的なリハを展開します。リハの効果は身体能力、廃用の改善のみではなく、生命予後、原疾患の改善、治療有害作用の軽減、精神機能改善など多面的な効果があります。ICU以外でも発症直後からリハを開始、あるいは予定手術では術前運動療法を行うことで最大限の効果を発揮できるように図りたいと考えます。

最近の研究結果概念図



2. 進行がんに対するリハの充実

緩和ケアを含めた進行がんに対するリハもこれまで以上に充実できればと考えています。

3. チーム医療および地域連携の促進

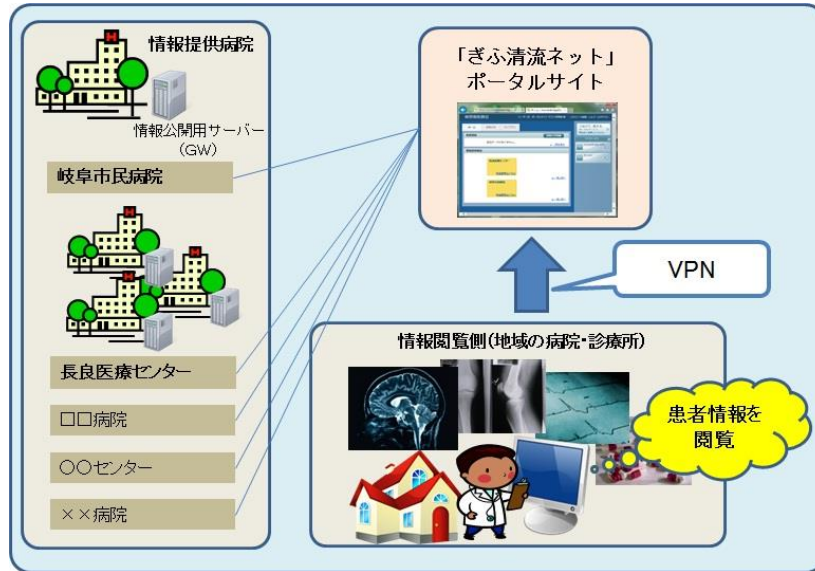
院内他科の医師、患者に関わるすべてのスタッフおよび家族がリハの視点を知り実践することが、より多くの患者のためになると考えます。急性期から慢性期までスムーズなリハを提供できるよう地域全体の皆様との連携に取り組みます。

4. リハ専門医の育成

リハ医は全国的に不足しており、なかでも岐阜県は非常に少なく深刻な状況です。今後、当院を専門医研修認定施設に申請し、新たなリハ専門医の育成に寄与したいと考えます。(医長 佐々木 裕介)

電子カルテ診療情報の共有

ぎふ清流ネットによる**岐阜市民病院の電子カルテ診療情報の共有**が始まります。連携診療中の患者さんの岐阜市民病院カルテ情報が診療所で閲覧できます（**患者さんの同意がないと共有されません**）。



ぎふ清流ネットイメージ

ぎふ清流ネットは岐阜県医師会と岐阜県病院協会が共同で運営する暗号化したインターネットによる医療情報ネットワークです。かかりつけ診療所の医師が、患者さんの病院での診察情報を把握することで連携診療の向上が図られます。

今回まず、**岐阜市民病院、長良医療センター、松波総合病院の共有**が始まります。閲覧できる電子カルテ情報は、提供病院ごとに異なります。岐阜市民病院では病名、処方、注射、検査結果、放射線レポート、内視鏡レポート、退院サマリなどを共有します（産婦人科、精神科を除きます）。

閲覧するためには、**運用講習会に参加**し、岐阜県医師会からぎふ清流ネット参加の ID パスワードの発行を受けていただくことが必要です。その上で文書による患者さんの同意を得て閲覧が可能となります。

平成 27 年以降順次提供病院が増えていく予定です。一度講習会を受講いただければ、連携するすべての**ぎふ清流ネット**提供病院の閲覧が可能となります。

ぎふ清流ネット 運用講習会のご案内

日時	平成 27 年 6 月 25 日（木） 19 時 45 分から 20 時 45 分
場所	岐阜市民病院 西棟 4 階 サルビアホール
主催	岐阜市民病院・岐阜県医師会・岐阜県病院協会

なお、**ぎふ清流ネット**の詳細は岐阜県医師会のリーフレット、ホームページをご覧ください。

～もの忘れ外来を始めました～

平成 27 年 5 月より 毎週水曜日より 完全予約制

午後 2 時～午後 4 時まで

診察医 里見和夫

対象者 認知症が疑われる患者の確定診断までの検査を行います。
治療は、原則紹介元にてお願いします。

予約方法 岐阜市民病院地域連携部に FAX 紹介連絡・予約申込票でご連絡をお願いします。（FAX 番号： 058-255-0504）

